

青森港で『釣り文化振興促進モデル港』

指定証交付式を開催しました！！

5月18日（土）に青森港浜町緑地にて、今年度の青森港釣り限定解放の開始にあわせて今年3月に指定された青森港の「釣り文化振興促進モデル港」指定証交付式を開催しました。

釣り文化振興促進モデル港とは、地方創生を目的とした地域の関係者による釣り文化振興促進の取組が進められている港湾で、国土交通省港湾局長が指定するものです。

指定証交付式では、青森県港湾空港課の對馬課長が「笑顔あふれる新たな青森港になってくれれば」と挨拶を述べました。続いて、国土交通省東北地方整備局港湾空港部の酒井部長が「青森港の港湾施設が地域の方に有効に活用され、釣り振興の取組が地域の活性化に結びついていただければ」と挨拶を述べました。

その後、酒井部長から市民団体『青森港の未来を考える会』の高橋会長に指定証が交付され、出席者全員で記念撮影をしました。

指定証交付式後には、地元の子供たちや障害者就労施設「森の工房ふれ・あい」の方々に参加いただき、約3,000匹のアイナメ稚魚の放流を行い、稚魚放流時には一段と賑わいを見せていました。

当日、浜町緑地の釣り限定解放に訪れて釣りをしている人にお話を聞いてみますとイワシやサバなどの魚が釣れたとのことで、釣りを楽しんでいただけたようです。これからより多くの方々に青森港での釣りを安全に楽しんでもらい、青森港を身近に感じていただけると嬉しいです。

今後の釣り限定解放の詳細情報につきましては、同ホームページの「釣り情報」に記載しております。



▲對馬課長のあいさつ



▲酒井部長のあいさつ



▲酒井部長が指定証を交付



▲出席者全員で記念撮影



▲約 3,000 匹のアイナメ稚魚



▲アイナメ稚魚放流の様子



▲釣りを楽しむ様子



▲釣れた魚